

あいさつ

公益社団法人香川県看護協会

会長 富山 清江

青葉の色あざやかな季節となりました。

会員の皆様には、日頃から看護協会活動にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

昼夜問わず、真摯に看護に向き合う看護職の皆様に関心と敬意を表します。今、あらゆる場所で、気候変動等による災害が発生し、被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げるとともに、一日でも早い復興により安心・安全に過ごされることをお祈りいたします。

さて、日本看護協会は2015年に「看護の将来ビジョン」を公表し10年経過しました。

これまで、当会は、その実現に向けて事業の遂行及び政策推進してまいりました。ビジョンに示されている地域包括ケアシステムの対象は、生まれる前から高齢者まで全世代であり、看護提供の場は医療機関を初め多様な看護活動を地域の隅々にまで届け、ビジョンの達成に向けて取り組み続ける必要があります。今、日本の社会経済、DX推進をはじめとした技術革新等より、人々の生活を一変させる可能性があることや後期高齢者社会のパイオニアである日本は、認知症をはじめとする医療・介護の複合的なニーズを有する人々の増加が見込まれています。そこで、看護の将来ビジョン2040では、“いのち・くらし・尊厳をまもり支える”看護職として、様々なニーズの高まりから地域へと活躍の場を広げ、人々の健康や療養を支えるため地域において裁量発揮できるよう支援してまいります。

2023年10月「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づく「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」改定や2024年4月DMAT同様に医療法に基づく災害・感染症医療従事者に位置付けられた災害支援ナース、そして今秋にはデジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システムの一部としてNuPS（Nurse-Portal-Site：看護職のためのポータルサイト）が開始予定であり、看護職の活動及びキャリア継続の支援として大きく前進できることに期待します。

令和6年度の取組みとして、香川県ナースセンターでは、ハローワークと協力しチーム医療の一員である看護補助者の確保や看護学生等の病院見学バスツアーを実施する等、就業支援、復職支援の推進に向けて機能強化を推進しました。また、香川県はじめ各医療機関等の皆様にご理解ご協力を賜り、感染管理認定看護師教育B課程教育や災害支援ナース育成を行うことができました。令和7年度は4つの重点政策課題、9つの重点事業を進めてまいります。重点政策として1.全世代の健康を支える看護の機能強化、2.専門職としてのキャリア継続の支援、3.地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮、4.地域の危機管理体制の構築に係る事業を展開します。看護専門職として看護の発展を目指し、関係機関との合意を十分に得たうえで、日本看護協会と連携しながら事業を継続してまいります。

引き続き、看護専門職能団体として看護職の一人ひとりが働き続けられるよう環境作りに取り組んでまいります。

今後とも、ご支援ご協力よろしくお願いします。